

公共交通に関するワークショップ 開催結果

市民協働推進部まちづくり推進課

ワークショップ開催概要

【目的】

令和8年度の次期大崎市公共交通計画の策定に向けて、地域での話し合いを行うに当たり、意見をどのように反映するか、市民参加の手法を考えるもの

日時	会場	参加人数
9/6(土) 10時～11時30分	鹿島台総合支所2階中会議室	14
9/10(水) 18時30分～20時	清滝地区公民館ホール	15
9/16(火) 18時30分～20時	松山公民館2階ホール	14
9/20(土) 10時～11時30分	大崎市役所本庁3階201会議室	7
9/27(土) 10時～11時30分	鳴子公民館ホール	3
9/28(日) 10時～11時30分	鬼首地区公民館会議室	7
10/2(木) 18時30分～20時	川渡地区公民館	7
10/6(月) 18時30分～20時	三本木総合支所第1会議室	10
10/14(火) 18時30分～20時	岩出山公民館2階研修室	14

※田尻地域は令和6年度に田尻公共交通運営委員会で開催済みのため開催なし

ワークショップ開催概要

参加者

地域住民（区長，民生委員等），まちづくり協議会，地区振興協議会，社会福祉協議会（生活支援コーディネーター）等

話合いのテーマ

【テーマ①】普段の外出について、よく行く場所、その移動手段、感じること、困りごとについて

【テーマ②】公共交通を使いやすく魅力あるものにするには？

【テーマ③】様々な意見を集約するためには、どのような人から意見を聞くべきか？

【テーマ④】どのような雰囲気や空間だと話しやすいか？

ワークショップで上がった意見（総括）

【テーマ①】普段の外出について、よく行く場所、その移動手段、感じること、困りごと

よく行く場所	移動手段	感じること・困りごと
<買い物> ・ スーパー、コンビニ ・ ホームセンター ・ ドラッグストア <公共施設> ・ 市役所（総合支所） ・ 集会所、公民館 ・ 学校 ・ 駅 ・ 図書館 <その他> ・ 病院 ・ 職場 ・ 銀行・郵便局	<自家用車> ・ 車 ・ バイク ・ 自転車 <公共交通機関> ・ 陸羽東線 ・ バス ・ タクシー <その他> ・ 家族や知人による送迎 ・ 徒歩	<自家用車に関すること> ・ ガソリン代が高い ・ 駐車場がない <公共交通について> ・ バスの運行日が限られている（土日に運行していない） ・ バスや陸羽東線の便数が少ない ・ バスと電車の乗り継ぎが悪い ・ 停留所が遠い

ワークショップで上がった意見（総括）

【テーマ②】公共交通を使いやすく魅力あるものにするには、どのようにしたらいいと思いますか？

運行体制に関すること

- 運賃の値下げ
- 増便（土日の運行を含む運行日数の拡充）
- ICカードの導入

運行ダイヤに関すること

- ダイヤ改正による乗り継ぎの改善

環境整備に関すること

- 停留所の増設、ベンチの設置（乗車環境の改善）

ワークショップで上がった意見（総括）

【テーマ③】様々な意見を集約するためには、どのような人から意見を聞くべきだと思いますか？

高齢者層

- 高齢者
- 免許返納者（予定者）

学生・その家族・若い世代

- 中学生, 高校生, 大学生（これから公共交通を使うと思われる世代）
- 学生を送迎している保護者

利用者・交通事業者

- 公共交通利用者
- バス, タクシーなどの運行事業者

地域関係者

- 地域の担い手（区長, 民生委員等）
- まちづくり協議会, 地域づくり委員会
- 社会福祉協議会 生活支援コーディネーター

ワークショップで上がった意見（総括）

【テーマ④】どのような雰囲気や空間だと話しやすいと思いますか？

- ワークショップやグループワーク形式でみんなで話し合う（少人数制・否定しない・言いやすい雰囲気）
- お祭り・イベントの開催時や集会, 高齢者のつどいに出向いて意見を聞く
- 駅やバス停でのヒアリング
- 学校など, 学生が参加しやすい場所（出前講座の開催）

ワークショップで上がった意見（総括）

【まとめ】公共交通に望まれていること

運行に関すること

- 運行本数の増便（夜間や土日の足の確保）
- 停留所の位置の検討
- 運行ダイヤの改正によるスムーズな乗り継ぎ

乗車促進に関すること

- ICカードの導入
- 停留所の整備（ベンチや屋根の設置）

地域内公共交通に関すること

- 運賃の値下げ
- 運行地域を広げてほしい（他地域への運行）

その他

- タクシー料金の助成制度

第2期大崎市地域公共交通計画の策定に向けて

市では今後、令和8年度に「第二期大崎市公共交通計画」策定に取り組み、ワークショップの開催を通じて、市民の皆様から意見を頂戴し計画に反映させていきます。

計画策定スケジュール

令和8年度 調査・ワークショップ、計画策定
9年度 計画実施(~13年度)

ワークショップの様子



地域別の意見一覧

ワークショップで上がった意見（古川地域）

【テーマ①】よく行く場所、その移動手段、感じること、困りごと

よく行く場所

- ・ スーパー（ヨークベニマル）
- ・ 市役所, 図書館
- ・ 市内の温泉, 福祉プラザ
- ・ 涌谷町

移動手段

- ・ 車
- ・ 新幹線, 電車
- ・ 自転車
- ・ 徒歩

感じること・困りごと

- ・ 運転の技術不足
- ・ バスの料金が値上がりしている
- ・ 自宅近くのバスの本数がどんどん減る
- ・ 乗る場所が遠い
- ・ 待ち時間が多い
- ・ 運賃表に他の線の運賃も載せてほしい
- ・ 歩道に凹凸がある
- ・ 車の経費がかかる（ガソリン代, 保険料）
- ・ 自転車道の安全性

ワークショップで上がった意見（古川地域）

【テーマ②】魅力ある公共交通にするためには

- 電車、バスの乗り継ぎ改善・増便
- 市営にして幅広い取り組みをする
- 乗り合いバスやタクシーの導入
- スクールバスの混乗
- ICカードの導入
- タクシー料金補助
- 年齢制限（高齢者など対象をしばった制度）の補助検討
- 駅のホーム案内の充実
- ラッピング列車の運行
- 駅ごとに違う花を飾る、歴史的建築を活かす
- 陸羽東線車内で観光ガイド
- 列車で遊べる仕掛け
- 観光列車の運行

【テーマ③】さまざまな意見を集約するために参加すべき人

- 80歳以上
- 小学生, 学生(交通弱者)
- 運行事業者
- 高齢者の多い地区の役員(民生委員)
- 現に公共交通を利用している人から意見を聞く
- 運行事業者

【テーマ④】意見を言いやすい雰囲気・場づくり

- ワークショップ形式, 年齢別のワークショップ
- 敬老会, サークルの集まり
- 経験談を話してもらう
- 駅や病院での聞き取り

ワークショップで上がった意見（古川清滝・宮沢地区）

【テーマ①】よく行く場所、その移動手段、感じること、困りごと

よく行く場所

- ・ スーパー（BIG, イオン, ヨークベニマル, ウジェ）
- ・ ホームセンター, ドラッグストア, コンビニ
- ・ 公民館, 市役所
- ・ 医療機関
- ・ 映画館
- ・ 飲食店
- ・ 道の駅, 古代の里
- ・ 家族のところ
- ・ 鳴子温泉
- ・ 富谷市

移動手段

- ・ 車
- ・ ほたる号
- ・ 自転車
- ・ 徒歩

感じること・困りごと

- ・ だんだん運転が負担になっている
- ・ イオンタウンの駐車場で遠くに駐車すると歩くのが大変
- ・ 足が弱くなった
- ・ 冬の道路がこわい
- ・ ガソリン代がかかる
- ・ 駅に停める駐車場が空いていない
- ・ 土日の公共バスが運行されてない
- ・ 病院の帰りの時間が読めないのて公共交通を使いにくい
- ・ 人が多いので困る
- ・ 野生動物の脅威
- ・ 道路に歩道がないところがある
- ・ ビッグの出入口は時間によって混雑して危険

ワークショップで上がった意見（古川清滝・宮沢地区）

【テーマ②】魅力ある公共交通にするためには

- ・ 運行時間の短縮化
- ・ バスは目的地まで時間がかかりすぎる
- ・ 料金が少々高くなっても停留所を増やす
- ・ タクシー料金を助成する
- ・ 乗ってみたいバスにする（ラッピングバス）
- ・ デマンド交通の運行日・便数を増やし、目的地を自由にする
- ・ 循環バスへの乗換えをスムーズにできるようにする
- ・ 乗換支援ボランティア制度
- ・ みんなでルート・運行日を決める
- ・ 病院通いに便利なことを伝え、ほたる号をもっとPRする
- ・ 一日200円で乗れる方法を考える
- ・ ほたる号の利用率を上げて毎日運行する
- ・ 公共交通を使い「おでかけお楽しみツアー」などを企画

【テーマ③】さまざまな意見を集約するために参加すべき人

- ・ 免許がない人（免許を返納予定の人）
- ・ 学生, 部活動をしている人
- ・ 子育て中の親, 学生を送迎している人
- ・ 区長, 地区老人会メンバー, 主婦
- ・ JR, バス・タクシー運行事業者
- ・ デマンド交通利用者
- ・ 年代毎, 市政だよりに掲載して今後の問題点を知らせる

【テーマ④】意見を言いやすい雰囲気・場づくり

- ・ ワークショップ
- ・ 地区の集まり（集会所でお茶を飲みながら, 食べ物を食べながら）
- ・ 地区民全体にランダムに声掛けをする
- ・ 学校に出向いて出前講座を開く
- ・ 年代の近い世代のグループ編成

ワークショップで上がった意見（松山地域）

【テーマ①】よく行く場所、その移動手段、感じること、困りごと

よく行く場所

- ・ ホームセンター（おてんとさん, DCM, コメリ）
- ・ スーパー（ヨークベニマル, イオン）, ドラッグストア, コンビニ
- ・ 松山地域内の商店（マルフジ, ぎんや）
- ・ 公民館, JA, 銀行
- ・ 三本木地域（パークゴルフ場, 公衆浴場）
- ・ 山, スポーツジム
- ・ 医療機関
- ・ 仙台市街

移動手段

- ・ 車
- ・ バイク
- ・ JR
- ・ コスモス号
- ・ タクシー
- ・ 家族や他人の車に乗せられていく
- ・ 徒歩

感じること・困りごと

- ・ ガソリンの減りが早い
- ・ 駐車場の確保が難しい
- ・ デマンド交通を隣の地区にも広げてほしい
- ・ 電車を使いたい为本数が少ない
- ・ 林道が整備されていない
- ・ 町内に量販店が少ない
- ・ 飲み会の足, お迎えが困難
- ・ 地元の店をあまり利用しなくなっている
- ・ スーパーや銀行が地域にない

ワークショップで上がった意見（松山地域）

【テーマ②】魅力ある公共交通にするためには

- ・ 駅までのネットワーク強化、幹線を定め定時運行を増やす
- ・ 市民バスと地域内交通（コスモス号）の一体的な運行
- ・ 循環バスの導入、鹿島台方面の便数拡大、
- ・ 回数・本数の増加
- ・ 病院近接に停留所を設置
- ・ 自宅・枝道まで乗降可能に
- ・ ラッピングバス、ラッピングタクシーの運行
- ・ ライフスタイルに合う時刻表の設定
- ・ コスモス号の当日予約可能、スマホ予約対応
- ・ 地域越境の移動を可能に
- ・ 回数券・運賃値下げ、一区间料金の引き下げ
- ・ バス停の位置の検討、ベンチ等の設置
- ・ タクシーやバスの乗車料金補助

【テーマ③】さまざまな意見を集約するために参加すべき人

- ・ 月ごとの高齢者の集いの場での話し合い
- ・ 老人会、お茶会など人が多く集まる場所
- ・ 高齢者・免許返納者
- ・ 小・中・高校生
- ・ 利用者
- ・ 子育て世代
- ・ 社協職員（SC）、生活支援コーディネーター
- ・ 運行事業者
- ・ さまざまな年代の人から話を聞く

【テーマ④】意見を言いやすい雰囲気・場づくり

- ・ 話す時間を多めにする
- ・ リードしてくれる人がいるとよい
- ・ お菓子を持ち寄り、ざくばらんに気構えないワークショップ（楽しい中・明るい雰囲気）
- ・ 知人どうして話し合う
- ・ 意見が出しやすい雰囲気の中で（人の話を否定しない・意見への賛同が必要）
- ・ 様々な年齢層が参加した方がよい

ワークショップで上がった意見（三本木地域）

【テーマ①】よく行く場所、その移動手段、感じること、困りごと

よく行く場所

- ・ スーパー（生協, ヨーク, イオン）
- ・ ホームセンター
- ・ コンビニ
- ・ ドラッグストア
- ・ 道の駅
- ・ 古川, 加美町中新田
- ・ 図書館
- ・ 福祉プラザ
- ・ 市役所
- ・ 医療機関, 福祉施設
- ・ 銀行, 郵便局

移動手段

- ・ 車, バイク
- ・ 新幹線
- ・ 電車
- ・ バス
- ・ タクシー

感じること・困りごと

- ・ タクシーが料金高い
- ・ 本数が少ない
- ・ 自転車のマナーが悪い, 高齢ドライバーの不注意な運転
- ・ バス停まで遠い
- ・ 公共交通を子どもと利用する時に気を遣う
- ・ 道幅が狭いところがある
- ・ 車以外の移動手段がほぼない
- ・ 駅が暗くて怖い（無人駅やバス停）

ワークショップで上がった意見（三本木地域）

【テーマ②】 魅力ある公共交通にするためには

- デマンドタクシーをもっと使いやすく
- 電子決済可, ポイント制, 回数券, 割引制度を設ける
- 予約登録制にする
- バス乗り場を増やし, バス停にベンチ, 屋根をつける
- 夜遅い時間にもバスを運行（飲んで帰れる交通手段の確保）
- ライドシェアとタクシー会社のバランスを考えながら新たな交通手段を模索
- 高齢者の運転講座を増やす
- 小型のルートバスを運行する
- イベント用に合わせたバスの運行

【テーマ③】 さまざまな意見を集約するために参加すべき人

- 免許返納者
- 高齢者の家族, 送迎している親
- 学生
- 運行事業者
- 自治会長, 百歳体操・いきいき体操の会場, 老人会
- 公共交通利用者

【テーマ④】 意見を言いやすい雰囲気・場づくり

- 親子イベント
- 人が集まる場所へ出向く（百歳体操, 高齢者のつどい）
- 区長へのアンケート
- 大崎市LINE, アンケート(二次元コード化)

ワークショップで上がった意見（鹿島台地域）

【テーマ①】よく行く場所、その移動手段、感じること、困りごと

よく行く場所

- ・ スーパー（BIG, Aコープ）
- ・ ホームセンター
- ・ コンビニ, ドラッグストア
- ・ 駅, 総合支所, 集会所, 公会堂, 鎌田記念ホール
- ・ 医療機関
- ・ 学校, 塾
- ・ 職場
- ・ 市内の温泉, パークゴルフ場
- ・ 銀行
- ・ 石巻市, 仙台市
- ・ 古川地域, 家族のところ, 町内

移動手段

- ・ 車
- ・ 電車
- ・ 公用車
- ・ 自転車

感じること・困りごと

- ・ 車の駐車に困る, 駐車代金がかかる, 体調が悪いときに運転が必要
- ・ 診察の時間が読めない（帰りの時間）
- ・ 陸羽東線の本数が少ない
- ・ バスを利用すると行くときはいいが, 帰りのバスに間に合わない
- ・ 歩くと時間がかかる（わらじ号の停留所が遠い）
- ・ 免許返納
- ・ 車道と歩道が狭い
- ・ 送迎に時間がかかる

ワークショップで上がった意見（鹿島台地域）

【テーマ②】魅力ある公共交通にするためには

- 乗り継ぎが可能なダイヤ設定
- バスの時刻表を分かりやすくするなど、外国人にも利用しやすいようにする
- 通勤・通学など利用時間に合わせるなど、住民のニーズに合わせた運行
- ドアtoドアの運行や停留所の増設、スクールバスとの併用
- 地域内公共交通の増便、PR強化
- バス停の間隔を短くしてベンチを設置
- コースの検討（路線が家から近い、駅に向かう、集会所を回る等のコースの細分化）
- 通学時に利用してもらえるように学割制度や外国人割引を設ける
- タクシー代の助成制度
- JR利用のための駐車場の確保（パーク・アンド・ライドの実施）

【テーマ③】さまざまな意見を集約するために参加すべき人

- 免許返納者（返納予定者）、免許のない人
- 市長、教育長、市議会議員
- 学生、義務教育学校の先生
- 区長
- 若い世代・さまざまな年齢や立場の人（主婦やパート等）
- 運行事業者
- バス利用者
- 外国人

【テーマ④】意見を言いやすい雰囲気・場づくり

- グループワーク・ワークショップ（カフェのような空間、音楽を聞きながら）
- 地域のイベント、支所・文化祭にコーナーを設ける
- 百歳体操、高齢者のつどい（市側が出向く）
- わらじ号の中
- 懇親会など（飲酒を伴う）
- 特典がついている

ワークショップで上がった意見（岩出山地域）

【テーマ①】よく行く場所、その移動手段、感じること、困りごと

よく行く場所

- ・ スーパー（ウジエ, トラスト, イオン）
- ・ ドラッグストア, ホームセンター
- ・ 公民館, 体育センター, 駅
- ・ 医療機関
- ・ 学校
- ・ 博物館
- ・ グラウンド(利府, 三本木)
- ・ 仙台市, 古川地域, 鬼首地区

移動手段

- ・ 車
- ・ 電車
- ・ 知人の車

感じること・困りごと

- ・ 使いたい時間とバスダイヤが合わない
- ・ バスと電車の時間が重複している
- ・ 新幹線と陸羽東線の接続が悪い
- ・ 遅延・運休が生じる
- ・ 運賃が高い
- ・ 暑い日や雪の日に歩く高校生や高齢者を見かける
- ・ 紅葉時期の運行時間
- ・ 雪道の運転が心配
- ・ 駐車場が少ない

ワークショップで上がった意見（岩出山地域）

【テーマ②】魅力ある公共交通にするためには

- ・ 地域内交通の充実（土日、祝日の運行や夜間までの運行時間の延長、当日も可能な予約体制、地域外へも移動できるように）
- ・ 運賃を安くする
- ・ 地域内公共交通の手続きなどを簡単に
- ・ 地域住民と観光客が併用できる公共交通の運行
- ・ バスルートの見直し
- ・ Suicaの導入
- ・ 駅の充実（スロープの設置、階段の段差解消、コインロッカー、防犯カメラの設置）
- ・ アンケートの実施
- ・ 駅近くに時間を使うところがあるとよい
- ・ 無人駅ではなくマルシェなどに貸し出す
- ・ 陸羽東線車内にキiosk設置
- ・ 乗降りにサポートが付くと安心

【テーマ③】さまざまな意見を集約するために参加すべき人

- ・ 免許返納者、高齢者
- ・ 歩行や外出に介助の必要な人
- ・ 学校へアンケート
- ・ 運行事業者
- ・ 地域の人（民生委員、区長、親交会長、老人クラブ）や子育て世代の人
- ・ 利用者、今後利用予定の人（公共交通を使っていない人）
- ・ 先進地域の事例を参考にする

【テーマ④】意見を言いやすい雰囲気・場づくり

- ・ 車内でワークショップ
- ・ 公民館事業
- ・ 親交会
- ・ 陸羽東線、イベント列車でお酒を飲みながら
- ・ 小さいコミュニティの方が話しやすい
- ・ 学校
- ・ 乗車体験をして感想聞く
- ・ 社会福祉協議会や福社会の職員と話す

ワークショップで上がった意見（鳴子温泉地域）

【テーマ①】よく行く場所、その移動手段、感じること、困りごと

よく行く場所

- ・ スーパー（ヤマザワ, イオン）
- ・ ドラックストア
- ・ 道の駅
- ・ 市役所, 図書館, 集会所, コミュニティセンター
- ・ 職場
- ・ 郵便局
- ・ 仙台市, 加美町, 石巻市, 岩出山地域

移動手段

- ・ 車
- ・ 新幹線
- ・ 電車
- ・ 高速バス
- ・ タクシー
- ・ 自転車

感じること・困りごと

- ・ ガソリン代の負担が大きい
- ・ 仙台ー 鳴子間の高速バスが運休になり, 移動が大変
- ・ 子ども一緒だと公共交通が使いにくい
- ・ 渋滞が発生し, 到着時間などが読みにくい

ワークショップで上がった意見（鳴子温泉地域）

【テーマ②】魅力ある公共交通にするためには

- すべての駅でSuicaが使えるように
- バス停の位置, ベンチの設置の検討
- ドアtoドアのサービス
- 運行本数を多く(1時間1本程度)
- 無料デーの実施
- 移動の用途によって電車・バス代減免
- カーシェアサービス
- 駅から電気自転車など二次交通につなぐ仕組み, 二次交通の充実
- 陸羽東線で鳴子温泉に来ると特典が受けられるといった乗車促進策の実施
- 公共交通を使った地域内ツアーを企画
- 公民館事業との連携事業を実施

【テーマ③】さまざまな意見を集約するために参加すべき人

- 80歳以上, 免許返納した方
- 小中学生, 高校生
- 運行事業者(運転手)
- まちづくり協議会, 民生委員, 行政区・町内会単位で
- 車中心の人たち
- 公募
- Iターンした人
- 商工団体, 観光団体
- 免許返納世代を抱える家族
- 利用したことがない人

【テーマ④】意見を言いやすい雰囲気・場づくり

- ワークショップ, グループワーク
- カフェのような場所でフリートーク

ワークショップで上がった意見（川渡地区）

【テーマ①】よく行く場所、その移動手段、感じること、困りごと

よく行く場所

- ・ スーパー（ヨーク）、ドラッグストア、薬局
- ・ 駅、市役所
- ・ 病院
- ・ 仙台市
- ・ 大衡村
- ・ 岩出山、古川、三本木地域

移動手段

- ・ 車
- ・ 電車
- ・ バス
- ・ タクシー
- ・ 自転車
- ・ 知人の車

感じること・困りごと

- ・ バスで行っても帰りの便が長時間ない
- ・ バスの本数少ない、土日バスが無い、バスと電車の乗継ぎ悪い
- ・ 川渡から鳴子分院までのバスルートがない
- ・ 陸羽東線の本数が少ない
- ・ タクシー会社がなくなった
- ・ 高速バスの仙台ー鳴子便が廃止になった
- ・ 車がなく健診会場まで行けない、健診の足を確保できない
- ・ 自分が体が思うように動かなくなった時の不安が大きい

ワークショップで上がった意見（川渡地区）

【テーマ②】魅力ある公共交通にするためには

- ・ ライドシェアのシステム導入
- ・ バスも電車も1時間1本運行（増便）
- ・ 鳴子線最終のバスは18時か19時までであるとよい
- ・ 二次交通の充実（レンタサイクル, レンタカー）
- ・ スクールバスなど空き時間帯の活用
- ・ 巡回バスの運行（駅・役所・病院・スーパーなどに停留所を設置）
- ・ 免許返納者へタクシーチケット配布
- ・ レトロバスの運行
- ・ 市民生活と観光の目線で考える

【テーマ③】さまざまな意見を集約するために参加すべき人

- ・ 高齢者, 免許返納者
- ・ 高校生
- ・ 運行事業者
- ・ 公共交通利用者
- ・ 外国人
- ・ 観光客やホテル・旅館を利用している宿泊客の意見
- ・ 免許持っていない人
- ・ 先進地（最上）
- ・ 市民へのアンケート
- ・ 病院関係者

【テーマ④】意見を言いやすい雰囲気・場づくり

- ・ グループワーク
- ・ 地域のイベント, 文化祭, 敬老会, 高齢者サークルで聞き取り
- ・ 駅やバス停でヒアリング

ワークショップで上がった意見（鬼首地区）

【テーマ①】よく行く場所、その移動手段、感じること、困りごと

よく行く場所

- ・ スーパー, 鬼首地区の商店街
- ・ 駅, 市役所
- ・ 病院
- ・ 学校
- ・ 職場
- ・ 栗原市
- ・ 鳴子, 岩出山, 古川地域

移動手段

- ・ 車
- ・ 電車
- ・ バス
- ・ タクシー
- ・ 自転車
- ・ 鬼っ子号, 車いす電動カート
- ・ 知人の車

感じること・困りごと

- ・ ガソリン代が高い
- ・ 土日祝はバスがない
- ・ 鬼首エリアで循環バスが走ってほしい
- ・ 帰りのバス時間がない
- ・ バス停の位置の検討, 屋根・ベンチが必要
- ・ 家族の送迎時間が長い
- ・ 予約アプリがあればいい

ワークショップで上がった意見（鬼首地区）

【テーマ②】 魅力ある公共交通にするためには

- ニーズのあるダイヤ設定
- 鬼首→鳴子行きの朝の時間帯の増便
- 予約の取り方を簡単に（予約アプリの開発）
- 料金の再検討
- 市で車2台配置して乗れるような仕組みづくり, 運転を地域づくり委員にやってもらう
- ライドシェア制度の導入
- 鳴子温泉駅ホームの階段の昇り降りが辛いので渡り板設置
- 鬼首地域をいくつかのエリアに分けた循環バスの運行
- やさしい運転手, マナー教育の実施
- 行事案内をバス中に掲示し, 乗る機会を増やす

【テーマ③】 さまざまな意見を集約するために参加すべき人

- 高齢者
- 学生（次年から通学で利用予定の学生）, その保護者
- 運行事業者
- 地域づくり委員会
- 利用者
- 商店主, ホテル・ペンション, 観光業関係者

【テーマ④】 意見を言いやすい雰囲気・場づくり

- ワークショップ
- 各種事業に出向く
- 意見は否定しない
- 対行政とならないよう共に考える